

歯科医師、歯科衛生士と共有したいインプラント上部構造 様々な選択肢とその製作について



SC大阪1 Director
梁俊信

今日、インプラントの補綴においてはデジタル印象で作製されるジルコニアによる補綴物が主流ですが、どのようなインプラント補綴が良いのでしょうか？

その材料は？デジタルかアナログか？ インプラントレベルかアバットメントレベルか？清掃性はどうか？

臨床的に考えるとクリニック、ラボの状況や患者の希望でその都度選択肢は変わる事が事実でしょう。歯科医師、技工士、歯科衛生士が協議の上、最適な選択をし、後の合併症が発生しにくい補綴が必要だと思います。今回はその合併症も念頭に於いたインプラント補綴についての経験を皆様と共有できれば幸いです。



講師 中村孝博先生

略歴

1987年 日本歯科大学 附属歯科専門学校 技工士科卒

1987年 中沢顎関節研究所、TMJ技工センター

1998年 株式会社TMA設立

2015年 医療法人社団有心会クリア歯科グループ

株式会社メディカル入社 技工部長就任

2017年 株式会社TMA併せて千葉市内歯科医院所属

2023年 現在、株式会社TMA

日時 2024年11月17日（日）10時～12時45分

会場 アットビジネスセンター大阪梅田 703号室

〒530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地2-2-16 関電不動産西梅田ビル7階

※桜橋の交差点にあるビルです。

参加申し込み どなたでも受講料 無料

ITIメンバーはウェブから申し込みを

それ以外の方は Fax 0797-35-1009

または メール ryo.dds0429@gmail.com

又は LINE: ryo-esthetic

いずれかにてお申し込みください

